

進路情報2018 No.9



進路指導係 笠原

中体連上高井体育大会が終わり、本年度も多くの運動部が一つ上の大会に勝ち進みました。次は東中学校の代表としてだけではなく、上高井の代表としての自覚をもち、全力で戦ってもらいたいと思います。今の部活動の取り組みをどう受験へ切り替えられるかが、今後の進路選択に大きく影響してきます。これから先にある体験入学、夏休み、そして、東祭・音楽会、市内親善音楽会などの行事を経験しながら、受験に向かって3学年の節目を作っていきましょう。

1 体験入学について

(1)参加について

- ①学校単位で申し込んでいますが、個人参加ですので、内容や交通手段などをご家庭でご確認ください。
- ②交通事情等も考慮し、現地集合・現地解散とします。

(2)参加マナー等

- ①学内での打ち合わせ会でも説明・確認をしますが、ご家庭でもご確認をお願いします。中学校のルールに沿っての参加です。
- ②当日は、やむを得ない場合（病気等）以外は必ず参加してください。当日、やむを得ず欠席する場合は、中学校または担任まで連絡してください。
- ③自家用車で送迎される場合、相手校や近隣地域への迷惑にならないよう、ご配慮をお願いいたします。（公共交通機関の利用をお願いしている高校がほとんどです。保護者参加の場合の駐車場についてもお気をつけください。）
- ④終了後は、すみやかに帰宅してください。

(4)見学・体験のポイント

施設設備・生徒や学校の雰囲気・学校までの道のり・進路先やカリキュラム・クラブ活動などをよく見てください。

(3)参加報告書

体験入学終了後は「報告書」を作成し、原則翌日学校に提出することになっています。

2 進路講話Ⅱについて

<高校の先生のお話> 6月29日(金) 5校時~(13:35~14:35) 会場:東中学校武道場

- (1) 須坂創成高等学校 (専門学科)
- (2) 中野立志館高等学校 (総合学科)
- (3) 長野俊英高等学校 (私立普通科)

***保護者の方もご都合に合わせて、ぜひお聞きください**

3 保護者懇談会について

8月1日(水)~8月6日(月)に、保護者懇談会(三者面談)を実施します。

(詳細につきましては、後日、学級担任より計画を配布します。)

現時点での進路希望や進路についての考えや、夏休みの過ごし方など、これからの進路選択にあたっての心構え・見通しなどについて話し合っていきたいと考えています。

4 受験生の夏休みからの生活と学習について

・・夏休み・・

(1)基礎力の完成と苦手教科・苦手分野の克服を！

入試では、出題内容の65%~70%は、1・2年生の学習内容です。今までの授業用ノートや受験参考書をもとに、自分の弱点やポイントを書いた「まとめノート」を作ったり、今までの定期テストや問題集をやり直したり、夏休み中に1・2年の復習をしっかりと行うことが大切です。自分の弱点をはっきりさせ、ポイントをしばった学習をしましょう。毎日、5時間以上は勉強しましょう。

また夏休み中には、多くの塾や予備校が夏期講習を行っています。この夏期講習を活用してもいいですし、学校の補習授業の計画もありますので、家庭での学習と合わせて計画を立ててください。

(2)規則正しい生活

規則正しい生活が学力定着の基本です。1日をどのように過ごすかが重要です。特にLine等SNSの使用により、昼夜逆転が起きない生活を心がけましょう。各家庭での確認をお願いします。

(3)メリハリのある生活

毎日、朝から晩まで学習するよりは、1日の中で、1週間の中で、「休む時間は休む」「集中して学習するときは学習する」のメリハリをつけた方が効率が上がります。

(4)読書や世の中の動き（ニュース）にも関心を持つ！

作文試験や面接試験に必ず役立ちます。

・・2学期から・・

(1)先を見通した長期の計画と1週間単位の計画で！

自分で計画し、調整しながら学習していくことにより、本当の力が身につきます。総合テストが始まり、範囲がぐっと広がっています。自分にあった計画が立てられ、自分にあった学習方法が身についているかが重要になります。

(2)基本的な生活習慣

①早寝・早起きをし、同じ時間に食事をとり、規則正しい生活を続けることが、自分の力を発揮できることにつながります。部活動を引退してからも、遅刻することがないようにしてください。

②歯の治療などが必要な場合は、できるだけ早い時期に治しておきましょう。

③係や委員会の活動、清掃等で自分の責任を果たしましょう。

④服装、頭髪、言動、挨拶を考えましょう。

選ぶのは、高校の先生で、生徒の皆さんは選ばれる対象です。

(4)前期選抜・推薦入試に向けて

①作文・・・日常の書く機会(授業や生活ノート・斜面等)を最大限に生かす。(整った字、誤字脱字がない、文章の組み立て方、事実の羅列でなく自分の考えを書く、等)

②面接・・・例年と同じように面接練習を計画しますが、挨拶・言葉遣い・礼儀作法は、普段の生活の積み重ねです。

(3)授業の取り組みの見直し（毎日の授業も受験勉強である。）

授業は「よく聞き」、自分ならではの「ノートづくり」を。

家庭学習は作業ではなく、授業と関連づけたものに。3年の学習内容は授業で完璧にする。

5 進路に関わる留意事項について

(1) 受験を考える上で

① 「なぜ高等学校へ行くのか」目的意識をしっかりとつこと。

「どこかに入れればいい・どこなら入れるか」という考え方ではなく、**その高等学校で何を学びたいのか、その高等学校を卒業したらどうするのか、**高等学校入学後（その先のことも）を考えて選択してください。（義務教育ではない、ということ。「自由」の中身と「責任」の重さを考えていく。）

②高等学校の多様化

公立も私立も各学校の特色を前面に出すようになってきています。よく調べ、自分を生かせる学校を選択してください。

③出願形式の多様化

推薦（「専願」「併願」など）・前期選抜・後期選抜など選抜の基準の理解を深めてください。

④提出期限や書類の重要性

自分の進路に関わることとして、責任をもたせてください。

(2) 推薦入学に関して

推薦を希望するということは、「将来の見通しをもち、その高校にぜひ入学して学んでいきたい。」という明白な動機と強い意志をもち、学校の代表として恥ずかしくない生活を送っているということです。公立も私立も同じです。私立の学校推薦は、2学期におこなう進路希望調査時に希望を提出し、志望する高等学校の定める基準を満たし、調査書作成委員会での検討の結果、学校長の承認を得られれば、出願となります。公立の前期選抜（自己推薦型選抜）に関しては、高校や学科によって募集の観点があります。

(3) 各種検定にチャレンジしよう

漢字検定・数学検定・英語検定が2学期も実施されます。「**合否判定の判断基準にする**」と公表している高校もあります。資格取得をめざして勉強すること自体が、受験勉強にもなります。特に、推薦入試を考えている生徒は、ぜひチャレンジし、自分の実力を高めてください。

(4) 第5回総合テストで受験先を決定できるようにしましょう。

*進路希望調査の締め切りを**11月下旬**とする予定です。

*公立前期選抜・高専・私立の受験を考えていく場合、書類の準備や学習の面から考えて、このあたりまでに心を決めて、実際の受験の準備に入りたいところです。

*公立後期選抜の場合であっても、このあたりまでに受験校を絞り、気持ちを固められた方が力を発揮しやすいと言われています。また併願校（私立高校）の検討もこの時期からが良いかと思えます。